

目次

第 1 卷

西ヨーロッパでの初期の異端の出現

11 世紀後半から 12 世紀中期の間の異端の発展

第 2 卷

イタリアでの異端の拡大(1160-1216 年)	5
20. 異端を背景とする市民の不安	5
21. ヒューゴ・スペローニの誤りに対するウァカリウスの手紙	6
22. フミアティの起源	13
23. ロンバルディアのカタリ派異端	14
24. イタリアのカタリ派異端の起源	22
25. ボナカルサス:カタリ派異端の説明	25
26. パッサージ派の異端	28
27. ナルボンヌのイヴスによる異端者のもてなしの記録	41
南フランスの異端(1155-1216 年)	44
28. カトリックと異端の間の討論	44
29. トールーズでの異端に対する行動	49
30. ワルドー派異端の起源	55
31. 第三ラテラン公会議でのワルドー派	57
A. ランの年代記の報告	58
B. ウォルター・マップによるワルドー派の記述	58
32. リヨンのワルドーによる信仰の告白	60
33. 初期ワルドー派のブルボンのステファン	64
34. カトリックとワルドー派の間の討論	66
35. アラン・ド・リール:学者による異端への攻撃	69
36. ワルドー派と教会の和解	76
A. カトリックの貧者会の設立	78
B. カトリックの貧者に対する告発	82
C. ワルドー派、フミアティ、フランシスコ修道会	85
37. アルビジョア派とワルドー派異端の暴露	86
38. ヴォー・ド・セルネのピーターによるカタリ派とワルドー派の記述	91
北ヨーロッパの異端運動(1155-1216 年)	98
39. 1163 年のケルンでの事件	98
40. イングランドの異端者の運命	100

41.	ヴェズレーの「バプリカニ」	103
42.	異端者から魔女へ	105
A.	ランスでの大事件	107
B.	「異端の魔法」に対する信仰の勝利	109
43.	北欧での異端の拡大	112
A.	アラスの異端	112
B.	メスのワルドー派	113
44.	アルマリクス派	114
A.	パリでのアマリクス派に対する有罪宣告	115
B.	アマリクス派の誤謬	118
	訳者あとがき	120

第3巻

13世紀、14世紀前半の異端(1216-1325年)

13世紀、14世紀のカタリ派文献